



紀の川市長
中村 慎司

刊行によせて

「食育のまち紀の川市」くみいん

紀の川市は、平成二年二月、近畿で初めて「食育のまち」宣言をしました。

紀の川市は、農業が基幹産業で、バナナとパイナップル以外はなんでもとれる「フルーツ王国」です。日本一の売り上げを誇る「JA紀の里」めっけもん広場」や健康バイキングを提供する青洲の里、地場農産物を使った学校給食など、地産地消の取組も盛んに行われています。食育のまち

づくりについては、平成二〇年に紀の川市食育推進計画を策定し、平成二一年度に地方の元気再生事業などに取り組んできました。平成二三年度からはわがまち元気プロジェクトの中で「食育」をキーワードにした農業の六次産業化に取り組んでいます。

本書は、紀の川市理事・農林商工部長として実務に携わった田中卓二君が、「食育のまちづくり」の経緯を書き下ろしてくれたものです。第一章から五章まで「食育とは何か?」という定義からはじまり、市議会や市職員、市民との交流など実際に体験したことを自分自身の言葉で書いています。第六章では、合併についての想い、棚田の起源、あら川の桃、華岡青洲先生など紀の川市のことを独特の切り口で分析しています。第七章では、「紀の川のほとりで」など田中君が紀の川市のためにつくってくれた歌について解説しています。紀の川市のキーマンに対してのインタビュー記事も掲載しています。付属CDは田中君の歌の「音楽CD」としてだけでなく、本書で紹介された食育関係の冊子などの「データCD」としても活用ができます。

本書は、紀の川市の「食育のまちづくり」の経緯を知るための教科書としてだけでなく、紀の川市の魅力を再発見させてくれる面白い読み物となっています。

田中君は、当時の二階俊博自由民主党国会対策委員長と松岡利勝農林水産大臣に、私が直々をお願いをして紀の川市役所に来てもらった人です。平成一九年四月から、「理事」という市政全般を担う立場で、農林商工業・観光振興はじめ紀の川市のために尽くしてくれました。

この本は、彼の仕事の集大成として、余暇などを活用してコツコツと執筆活動をされたと聞いています。その苦勞に心から敬意を表したいと思います。

本書は、紀の川市民はもちろん、紀の川市に興味をもつすべての方々に読んでいただきたい本です。付属CDの音楽やコンテンツとあわせてお楽しみください。

平成三三年 三月